



# さすな

第80号

令和7年第4回定例会

●発行／合志市議会  
 ●編集／議会広報調査特別委員会  
 ●〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140  
 ●TEL 096-248-2038  
 FAX 096-248-2047  
 E-mail:gikai@city.koshi.lg.jp  
 令和8年2月16日発行

## 合志の秋祭りに深まる絆



黒石原秋祭り

**開** 拓団の納骨堂の盆踊りとして始まり、最近では子ども達の参加が増えてきてお昼開催の秋祭りとなりました。また、今年は初めて合志楓の森中学生がボランティアで参加し、今後の連携が期待されています。日本舞踊やパルクールなどの多くのパフォーマンスや抽選会で盛り上がりました。



すずかけ台自治会秋祭り

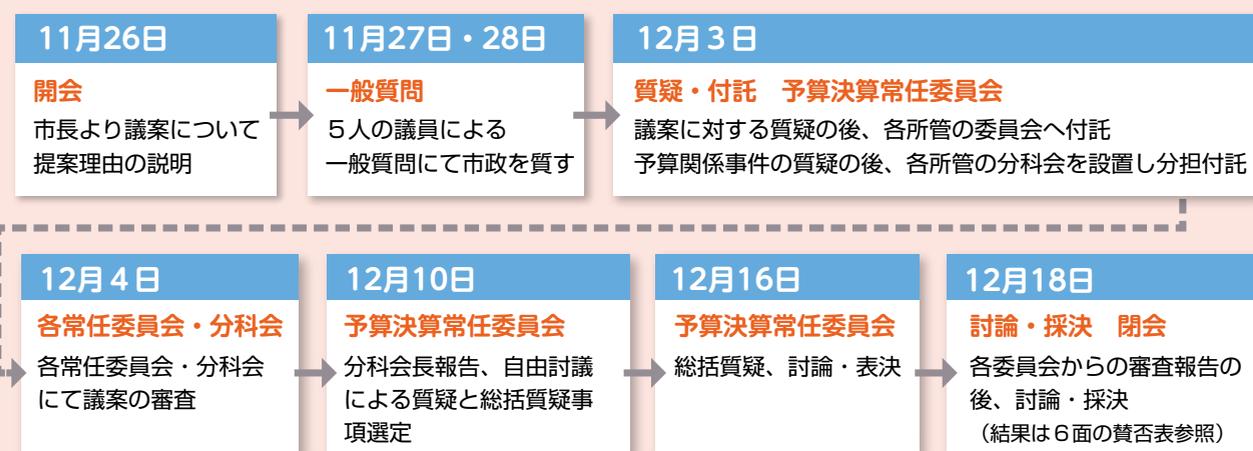
**地** 地域の皆さんが集い、にぎやかなひとときを過ごしました。すずかけ台保育園の園児による元気な太鼓演奏が祭りの幕開けを飾り、会場には拍手と笑顔が広がりました。焼きそばの香ばしい香りが漂う中、地域の絆を感じる温かな一日となりました。



みずき台区秋祭り

**青** 空の下、西合志南中学生の演奏もあり笑顔と音楽に包まれた一日となりました。世代をこえて心が通い合い、老人会の皆さんも大活躍！絆が深まった日となりました。

### 合志市議会 12月定例会の流れ



### もくじ

### CONTENTS

- 表紙..... 1
- 12月定例会の流れ..... 1
- 一般会計補正予算、条例改正、人事案件、意見書等..... 2
- 常任委員会・分科会の審査概要..... 3
- 委員会視察研修報告、行政視察..... 4
- 一般質問、市民まつり..... 5
- 賛否一覧表、次回定例会日程、編集後記等..... 6

# 令和7年度 一般会計補正予算

可決

第7号 ▲6億2,133万6千円 (減額) 総額  
第8号 8,233万7千円 (増額) 321億6,506万2千円

## 第7号

商工費 ▲7億6,917万2千円

省エネ再エネ工事の事業見直しにより減額したもの

災害復旧費 3,279万5千円

令和7年8月豪雨において被災した農地等の災害復旧により増額したもの



## 第8号

給与費及び共済費等  
7,899万1千円

令和7年人事院勧告及び熊本県人事委員会勧告を踏まえ、本市においても給料表及び期末勤勉手当の支給割合の改定を行なうことによるもの



## 条例制定

可決

### ●合志市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるため、制定するもの。



## 条例改正

可決

### ●合志市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

窓口での印鑑登録証明書の交付申請において、申請者本人に限りマイナンバーカードの提示でも申請ができるよう改正を行なうもの。

他6件



## 条例廃止

可決

### ●合志市総合運動公園条例を廃止する条例

中九州横断道路の建設に伴い、施設が本来の目的を達成するための機能を維持することが困難となったため廃止をするもの。

## 人事案件

適任

合志市人権擁護委員候補者の推薦 野田 博之 氏

のだ ひろゆき

## 議員提出議案

### 地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書

令和6年人事院勧告を受け、国家公務員の地域手当が令和7年4月から改定された。保育所等の公定価格や児童入所施設措置費等、介護・障害福祉サービスの報酬、保護施設事務費等については、国家公務員の地域手当に準拠した地域区分に応じて算定されている。

今回の地域手当の改定に伴い、保育所等の公定価格については、令和7年4月からの見直しは実施せず、引き続き見直し方法について丁寧に議論を進めていくとされた一方、児童入所施設措置費等及び保護施設事務費等については、多くの対象施設が人材確保に苦慮しており、処遇改善が求められている状況であったにもかかわらず、事前に自治体との調整が何ら行われることなく、通知・事務連絡により、令和7年4月から国家公務員の地域手当に準拠して見直しすることとされた。この見直しで引下げとなった自治体においては、対象施設の人材確保に更に大きな支障が生じる恐れがあり、施設入所者に対する支援の質の低下にもつながりかねない状況である。

また、本件について、対象となる施設関係者はもとより、他の社会福祉分野の関係者からも多くの不安の声が上がっている。保育士・幼稚園教諭、児童入所施設職員や介護従事者・障害福祉サービス従事者等の福祉人材については、年間の給与額が全職種平均と比較して低い状況にある。

よって、国においては、今後の地方における福祉人材確保の取組に支障が生じないように、以下の事項について取り組むことを強く求める。

記

- 令和7年4月からの地域区分の変更により、児童入所施設措置費等及び保護施設事務費等が引き下げられた自治体に対して、見直し前の水準に戻すために必要な財政措置を講じること。
  - 今回の見直しの対象とならなかった保育所等の公定価格や介護・障害福祉サービスの報酬等の地域区分について、国家公務員の地域手当に準拠することなく、今後の賃金水準や国における処遇改善の取組を踏まえた適切な水準となるよう、必要な財政措置を講じること。
- 以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和7年12月18日  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣 あて

提出者…合志市議会議員 大塚 薫 ほか13名

# 常任委員会・分科会の審査概要

## 総務

委員長 後藤 祐二  
副委員長 大塚 祐二  
委員 辻 大正 郎  
委員 齋藤 正昭 郎  
委員 後藤 修一 郎  
委員 坂本 武人 郎

### 【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第7号）

#### 財政課

- 問 国会で審議されている物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の拡充に関する施策について、検討している内容やスケジュールはあるのか。
- 答 国の補正予算が成立していないため、確定した情報はないが、可決した場合を想定し迅速に対応できるよう検討を進めている。※令和7年12月4日時点

#### 管財課

- 問 以前は安い電力会社と契約していたが、現在も電力会社の見直しは行なっているのか。
- 答 令和4年度の入札で、電力会社からの応札がなく最終補償契約という割高の契約になったことがあり、現在は通常の契約で九州電力に申し込みしている。

#### 市民課

- 問 健康保険証の廃止に伴うマイナンバーカードの保険証利用に関し、本市の発行状況は。
- 答 令和7年11月のマイナンバーカード申請者数は425人で、4月時点の倍以上増えている。また、保有率は10月末現在で83.6%となっており、県内14市と近隣の菊陽町・大津町を加えた16市町の中でも一番高い数字となっている。

#### 税務課

- 問 時間外勤務について職員の過重労働や健康面についての対応は。
- 答 個別の職員に負担が掛からないよう健康面も含め、充分フォローしながら、業務の割り振りをしている。

## 文教経済

委員長 辻 中元 藍  
副委員長 吉永 健司  
委員 上田 欣也 郎  
委員 濱元 幸一郎 郎  
委員 澤田 雄二 郎

### 【常任委員会】 令和7年度合志市下水道事業会計補正予算（第3号）

#### 下水道課

- 問 建設負担金の増額について、流下能力の増強工事に加えて、8月豪雨の被害に対応する工事を併せた金額なのか。また、当初の計画からの金額の変更は。
- 答 令和8年度から順次増強工事の予定をしていたが、8月豪雨の際、汚水の溢水やそれに起因する道路陥没事故が発生し、県が早急な工事が必要と判断し、前倒しで実施することとなった。また、工事の前倒しのため、当初の計画より多額の費用が発生するわけではない。
- 問 新処理場が完成後も今回の増強部分の費用負担が残るが、市民への負担は。
- 答 増強工事分の費用負担に関しては、新処理場の下水道使用料から補填されるため、この増強工事についての実質的な市民負担はない。

### 【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第7号）

#### 学校教育課

- 問 新しい学校給食センター移行後、単独校の既存の調理場はどのようにするのか。
- 答 給食配送用プラットフォームの建設を計画しているが、現在の調理場を利用してプラットフォームを建設するのか、解体が必要かについて学校関係者と検討中である。



#### 農政課

- 問 激甚災害の補助率確定後は、分担金の変更はあるのか。
- 答 補助率が確定することにより、分担金に変更が生じる。

## 健康福祉

委員長 永清 和寛  
副委員長 村上 香織  
委員 来海 恵子 郎  
委員 西島 隆幸 郎  
委員 青山 隆幸 郎  
委員 犬童 正洋 郎

### 【常任委員会】 合志市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

#### こども未来課

- 問 乳児等通園支援事業の受け入れに伴い、通常保育の保育士の数はどうなるのか。
- 答 本市が実施を予定している乳児等通園支援事業の一般型は、通常の入所定員とは別に定員を設けて実施するため、通常保育の保育士配置数には影響はない。

### 【分科会】 令和7年度合志市一般会計補正予算（第7号）

#### 福祉課

- 問 生活保護ケースワークAI支援サービスシステムを導入することで、業務をどの程度軽減できる見込みか。
- 答 生活保護担当職員5名の業務時間を年間約600時間削減できると見込んでいる。

#### 健康ほけん課

- 問 感染症予防事業において補助金の計上理由はなにか。
- 答 今年度から带状疱疹ワクチンが定期接種となったが、県医師会の接種体制が整わないことを理由に今年度は県の広域化が見送られたため、医療機関への委託料ではなく、接種者への補助金として対応するためである。

#### こども家庭課

- 問 今回、HPVワクチン接種補助金について増額となっているが、その対象は。
- 答 本来、キャッチアップ接種対象者の公費による接種期間は、令和6年度末までとなっていたが、公費負担期間の延長を国が示したことに伴い、接種者が増加したことによる補正である。



## 予算決算

委員長 西島 隆幸 郎  
副委員長 青山 隆幸 郎  
委員 議長を除く全議員

### (1) 合志市定員管理計画について

- 問 ①定員管理計画の必要性及び計画と現状との整合について  
②部署毎の人員偏在の状況及び会計年度任用職員の活用状況と今後の方向性について  
③現状を踏まえた今後の計画見直しの必要性について
- 答 合志市定員管理計画は、令和6～9年度を期間とし、住民ニーズや社会変化に柔軟に対応できる組織体制の構築を目的としている。本市職員数は、類似団体よりも比較的少ないことから、人員不足解消のための将来目標を設定し、計画に沿った職員数増及び採用人数の平準化の取り組みを行なっている。効率的な行政運営を実現するため、配置状況の定期的な分析等により適切な配置調整を行なうとともに、会計年度任用職員も効果的に活用することで、多様な行政需要や欠員対応を図っている。現状の人口当たり職員数と計画数値とで大きな乖離は生じていないが、今後、社会情勢や行政需要の変化が生じるなどにより、必要な場合には、計画を柔軟に見直しながら着実に推進していく。

### (2) グラウンドナイター照明設備の整備、維持管理について

- 問 ①既存のナイター照明設備の状況について  
②ナイター照明設備を含む今後の整備計画について
- 答 本市のナイター照明設備は、小学校では2校に整備され、中学校は未整備、社会体育施設では中央運動公園を含む複数施設に整備されており、一部の施設において不灯箇所がある。既存のナイター不灯箇所については、修理対応等を急ぎ行なう。

また、将来的には部活動地域移行の進捗状況や利用実態を踏まえて、今年度の合志中学校へのナイター整備完了をはじめとして、他の学校の整備検討を進め、併せて、恵風園敷地内への野球場等整備、各種施設の長寿命化等を計画的に進めていく。

### (3) 合志市食生活改善推進員協議会のあり方について

- 問 ①食生活改善推進員協議会の活動内容と本市における位置づけについて  
②先進地視察の目的と内容及びその成果について  
③食生活改善推進員協議会の今後の方針について
- 答 合志市食生活改善推進員協議会は、戦後の栄養教室や食生活改善推進活動等を起源とする全国的な取り組みの流れを受け、平成6年に自主団体として発足し、現在も市全域で活動している。本協議会は、料理教室や郷土料理の伝承講座、市民まつりでの食育ブース運営等を通じ、市民の健康づくりを支援しており、「健康都市こうし」の実現に大きく寄与する重要な団体である。今年度実施した先進地視察では、地域課題に応じた講座展開や企業連携、周知の工夫などを学び、実践的な成果を得た。今後も、本協議会の活動を支援し、組織強化と活動の充実、認知度向上に向け、連携を図っていく。



# 委員会視察研修報告

## 総務常任委員会

令和7年10月 8日(水)  
～10月10日(金)

### 埼玉県飯能市役所

#### 「公共交通の取り組みについて」

地域の少子高齢化、自家用車運転の困難化などにより、公共交通の維持（廃線）が課題となっていたことから「おでかけむーま号」が導入された。住民参加型で運行案、経路を検討するなど、地域と行政、事業者が協働で取り組んでいるが、公共交通全体の利用が低迷しており、路線バスを含め維持が難しい状況であることは、本市と共通の課題ととらえ、公共交通の取り組みの難しさを感じた。



### 神奈川県鎌倉市役所

#### 「スマートシティ構想の推進について」

人口減少と高齢化が進む中で、ICTやAIを活用し市のまちづくりを効率化し、市の課題解決を目的としている。DXの効率化は、政策課題の把握と予算配分の適正化の面から、データ活用での問題を見つけることが重要だと感じた。

### 東京都豊島区 としまみどりの防災公園

#### 「防災の取り組みについて」

主な機能として平常時は芝生広場、憩いの場、災害時はヘリポート、避難所、救援物資集積拠点として防災機能を備え9千人の一時避難が可能である。また、賑わい地域交流としてカフェ・ファーマーズマーケット・小型店舗「KOTO-PORT」・コミュニティガーデンなども併設していることや官民連携と新しい運営方式・設計・加工・管理運営を一体化する「Park+PF」制度の導入等の説明を受けた。日常利用と防災機能が自然に融合した親しまれる防災施設づくりの必要性を感じた。

## 文教経済常任委員会

令和7年11月 5日(水)  
～11月 7日(金)

### 石川県加賀市立山中小学校

#### 「加賀市学校教育ビジョンとその取り組みについて」

加賀市教育委員会では、「BE THE PLAYER (自分で考え 動く 生み出すそして社会を変える)」という学校教育ビジョンを掲げ、2023年から市内の全小中学校で次の4つのプロジェクトに取り組んでいる。① 学びを変える～授業を変える～ ② 誰一人取り残さない～不登校支援～ ③ 未来は自分で作る～STEAM ④ 地域と一緒に。今回、3年生以外の全学年の授業を見学し、子どもたちが自主的に学んでいる様子が確認できた。しかし、課題もあるとのこと、今後も注意深く見ていく必要があると感じた。



### 石川県小松市役所

#### 「水道点検へのAI技術活用（管路AI劣化診断）について」

小松市では、管路データ及び漏水データに加えて9項目の環境ビッグデータをAIに学習させ、管路の劣化状態を予測・診断している。この結果を更新計画やアセットマネジメントに反映している。本市は衛星からの漏水診断を予定しているが、管路AI劣化診断も組み合わせることでより有効な対策ができるのではないかと感じた。

### コマツ栗津工場

#### 「建設機械のICT化等による先進的な取り組みについて」

工場内の組み立てラインとAIとGPS、GNSS（全球測位衛星システム）を用いた遠隔操作を見学した。ベテラン技術者でも難しい法面整形を高い精度で作業する様子を確認できた。全国的に建設現場の人手不足が課題となっている中、このような技術を取り入れていくことの必要性を認識した。

## 健康福祉常任委員会

令和7年10月29日(水)  
～10月31日(金)

### 日本理化学工業株式会社

#### 「障害者雇用について」

国内シェア3/4のチョーク製造販売を手掛ける企業だが、従業員96名のうち69名が知的障害を持つ社員である。障がい者雇用は65年前から始めており、会社の基本姿勢として、福祉や社会貢献のためではなく、「現場に必要な職人」という実利的な理由で雇用。「教える側」の責任として、「教えてできなかったら、教えた方が悪い」という厳しい社内文化が根付いていて、障がい者雇用のあり方について学ぶことができた。



### 神奈川県鎌倉市役所

#### 「障害者二千人雇用について」

障害者2000人雇用事業は現市長の福祉政策マニフェストを起点とし、総合計画の重点事業として推進。平成31年施行の鎌倉市共生社会の実現をめざす条例を制定し、鎌倉市障害者基本計画に施策として位置づけ、全市的に取り組んでいる。令和5年11月時点で2,000人を達成し、働き方改革、在宅勤務、法定雇用率引き上げ、精神障害者手帳交付増など環境変化を踏まえ継続・拡充の方針を立てている。本市の今後の展開にも参考になった。

### 神奈川県藤沢市 藤-teria

#### 「藤-teriaについて」

藤-teriaとは藤沢市のPFI事業（BTO方式）で誕生した、保育園を中心とした公共・民間複合施設であり、SPC（特別目的会社）である「ふじがおか活々交流株式会社」が設計・建設・維持管理を担い、運営は機能ごとに直営・指定管理・業務委託を併用している。VFM（財政効果）8.7%を確認していると共に、各事業所の交流が盛んで官民連携の成功事例として大変参考になった。

## 公共交通ネットワーク網構築推進特別委員会

令和7年11月10日(月)  
～11月12日(水)

### 愛知県刈谷市役所

#### 「地域公共交通について」

刈谷市内には、JRと名古屋鉄道が市の中央を通っているが、北部地域は人口密度が低く既存集落が点在しているため、公共交通の空白地帯が存在していた。そこで、市は、株式会社アイシンと大興タクシー株式会社と共同で「チョイソコかりや」を運行し、令和5年11月に実証実験を開始し、令和8年10月から本格運行を予定している。停留所は、域内137カ所、公共施設、駅を中心に配置されており、公共交通としての役割を果たしていると感じた。



### 岐阜県各務原市役所

#### 「地域公共交通について」

「チョイソコかかみがはら」では、タクシー車両をそのまま活用しており、運用時間外には通常のタクシーとして運行している。これは事業者との協議が円滑で、住み分けが明確に出来ていると感じた。また、各自治会の希望する場所に停留所を設置する等、利用者にも配慮した取り組みが行なわれている。

### 愛知県庁

#### 「東三河MaaS『いこまい』について」

愛知県では、東三河地域の8市町村が連携し、地域内の周遊・交流の促進及び新モビリティサービスの普及、広域連携の促進を目的として、国土交通省の共創モデル実証プロジェクトで採択を受け、プラットフォームを導入するMaaSの実証実験を実施している。

これはMaaS本来の「様々な移動手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で提供するサービス」を行なうものであり広域的な事業であると感じた。

## 行政視察を受け入れました



愛知県 愛西市

視察日	議会名	視察の目的	議会対応者
10月 8日(水)	茨城県結城市議会 産業・建設委員会	合志農業活力プロジェクトの取組について	青木照美議長 辻藍文教経済常任委員長
10月15日(水)	広島県三次市議会 産業建設常任委員会	合志市農商工連携事業の取組について	青木照美議長 辻藍文教経済常任委員長
10月16日(木)	茨城県かすみがうら市議会 建設福祉委員会	株式会社こうし未来研究所の取組について	来海恵子副議長 後藤祐二総務常任委員長
10月23日(木)	愛知県愛西市議会 建設福祉委員会	eスポーツによる認知症予防等への取組（健幸都市こうし推進プロジェクト）について	青木照美議長 後藤祐二総務常任委員長

# 一般質問

各議員の一般質問の様子は、QRコードでインターネット録画をご覧ください。



大塚 薫議員

## おくやみ手続きの負担軽減と窓口整備

**問** 死亡に伴う行政手続は多岐にわたり、ご遺族が複数窓口を移動する負担が大きい。本庁での手続件数と平均所要時間は。  
**答** 4～10月の月平均は25.7件、1日平均1.2件。市民課での基本手続は約12分、関係6課を含めると平均68分である。  
**問** 高齢者や障がい者にも配慮し、1か所で手続きが完結する窓口整備やDX活用による簡素化を進めるべきではないか。

**答** 少子高齢化や生活ニーズ多様化に対応し、窓口を回らず書かずに済む「書かないワンストップ窓口」を行政改革大綱・集中改革プランに位置づけ、実現へ取り組みを進めている。待たない、書かない手続の簡素化に努めていきたい。

**その他の質問事項** • 耳で聴くハザードマップについて  
• 感震ブレーカーの設置支援について



青山 隆幸議員

## 令和7年8月豪雨について

**問** 令和7年8月豪雨による市街地での被害は。また、本市の最大時間雨量はどれくらいか。  
**答** 市内で7件の床上浸水があり、床下が27件である。堀川も増水して周辺が床上・床下浸水した。時間雨量は西合志観測所（上生）で最大118ミリであった。

**問** 熊本市が作成している内水浸水想定区域図を、本市でも作成する予定はあるか。  
**答** 今年度作成しハザードマップウェブ版に公開予定である。市民、行政間での内水浸水に関する情報を共有して、市民の皆様の防災意識の向上を図ることができると考えている。

**その他の質問事項** • 本市の生成AI導入について  
• 全国学力・学習状況調査について



辻 大二郎議員

## がん検診受診について

**問** がん検診受診率向上のための今後の取り組みは。  
**答** 広報・啓発活動に注力し検診手続きの簡素化、がん複合検診と特定検診を同時に行なうセット検診の拡充など、がん検診を含めた各種健康診断の重要性の理解と積極的な受診啓発に努める。  
**問** 大腸がん検診の実績と、早期発見のための対策は。  
**答** 令和6年度の大腸がん検診の受診者数は7,537名である。対

策として、定期的な検診の受診、また体調や症状への注意、あるいは生活習慣の改善に留意され、これらを組み合わせ大腸がんの発症予防、早期発見につなげていくよう市民へ周知と啓発に取り組む。

**その他の質問事項** • 小中学校における冷水機について  
• 放課後児童クラブについて 他



濱元 幸一郎議員

## 小中学校給食費の無償化を！

**問** 現在、小中学校給食費への食材費高騰に伴う補助を行ない、給食費の負担を抑えているが、2026年度も継続する考えはあるか。  
**答** 2026年度も物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、給食費の物価高騰に対する支援を行なう。  
**問** 県内では14市町村が小中学校給食費の完全無償化を行なっている。国は2026年度から小学校の給食費無償化に踏み出す事に

なっているが、まだ何も明確な方針が示されていない。国待ちにならず、本市独自で小中学校給食費の無償化に踏み出すべきだ。  
**答** 給食に関しては国にしっかり意見を伝え、協力していく。

**その他の質問事項** • 健軍駐屯地への長射程ミサイル配備について  
• 交通渋滞対策について 他



坂本 武人議員

## 合併20年の総括及び今後10年の基本方針について

**問** 合併の総括及び今後10年の新たな都市像について基本的認識を伺うとともに、今後市長ご自身がどう役割を果たされていく覚悟かその決意をしめされたい。  
**答** 新市建設計画を遂行するためにマニフェストも互換する形で戦略を持って務め、一定の効果が得られた意味において合併の判断は不可欠であったと総括している。

今後10年の目指すべき方向性は、JASM進出効果を最大化するためにサイエンスパークの誘致、渋滞解消を含む都市基盤の強化が必須で、各事業を着実に加速させるために次期市長選に出馬して有権者にビジョンをお示ししたいと決意した。



## 合志市民まつりに出展しました。

令和7年11月2日（日）

議会広報「きずな」のPR活動として、合志市議会ブースを出展しました。多くの方に立ち寄っていただけるよう、「合志市は住みやすいまちですか？」と題し、シールによる点数評価コーナーを大人用・子ども用に分けて設置しました。当日は、子どもたちも楽しみながら参加する姿が多く見られ、その様子をきっかけに、保護者の方と会話が生まれる場面もありました。多くの方と直接対話する機会を持ったことは、今後の議会広報につながる有意義な取り組みとなりました。市議会では今後も、対話を大切にしたい議会広報に努め、市民に開かれた議会を目指してまいります。



